

# CAMPUS NEWS

キャンパスニュース

## 2011年度、新学部と同志社国際学院を開設

創立以来「国際主義」を教育理念のひとつに掲げる同志社は、2011年度、グローバル・コミュニケーション学部(届出申請中・収容定員増加の認可申請中)と同志社国際学院(設置認可申請中)を開設する。グローバル・コミュニケーション学部は、英語、中国語、日本語(留学生対象の3コースで編成。外国語の「話す・聞く・書く・読む」を強化し、実践的・実用的な外国語運用能力の獲得を目指す。英語コースと中国語コースは、それぞれの言語の大学で1年間のStudy Abroad(留学)が必修となる。多様なバックグラウンドをもつ人々が行き交う現代社会において、卓越したコミュニケーション能力を持つ人を育成する。

同志社国際学院は、同志社大学付属の学校で、初等部と国際部から成る。初等部は小学1年生〜6年生までが対象で、海外生活経験のある子どもと日本国内で育ってきた子どもがともに学ぶ。日英バイリンガル教育で、6年間の学習全体の45%を日本語、55%を英語で行う。国際部はインターナショナルスクールで、世界中の子どもたちが集い、英語を主要な授業言語として学習を行う。国際バカロレアという国際的な教育カリキュラムによって、1年生〜12年生(高校3年生にあたる)までが学ぶ。詳細はそれぞれHPなどに掲載。

グローバル・コミュニケーション学部

<http://globalcommunications.doshisha.ac.jp/>

同志社国際学院

<http://www.dia.doshisha.ac.jp/>

(広報課)

## 司法研究科・法学研究科とウイスコンシン大学コースクール「単位互換プログラム」協定締結

司法研究科(法科大学院)および法学研究科とウイスコンシン大学コースクール(アメリカ・ウイスコンシン州、マディソン市)は、「単位互換プログラム」の協定を締結した。

同プログラムでは、要件を満たす本学大学院生がウイスコンシン大学のLL.M.(法学修士)コースに入学し、同大学が夏・春休

みに京都に派遣する教員による集中講義を履修することなどによって、LL.M.コース修了に必要な単位の約半分を本学に在学しながら取得することができる。

また、ウイスコンシン大学コースクールの修了するためには、通常2学期(9ヶ月)間を現地キャンパスで学修することが必要だが、1学期に短縮することができる。通常のコースに関わる約半分以下の学費等で、アメリカの上位にランクするコースクールのLL.M.が取得できる。LL.M.は、アメリカの一部の州等では、司法試験受験資格として認められる場合がある。

(司法研究科)

## 同志社総長賞表彰式

同志社総長賞は、学校法人同志社において、スポーツ活動及び文化活動の国際大会、国際コンクール等で入賞を果たした優秀な学生、生徒、児童又は園児に対し、総長が顕彰することを目的として2003年度から設けられた賞である。

2009年度は、大学長からの推薦で5人の受賞者を決定し、3月27日に表彰式を神学館礼拝堂で執り行った。受賞者は、第5回東アジア競技大会 陸上競技女子棒高跳で第3位を獲得した我孫子智美さん(社会学部)、IRBアジアラグビーセブンズシリーズ 上海セブンズ大会準優勝の正海智大さん(法学部)、第13回世界水泳選手権大会のシンクロノイズドスイミ





ングでチーム・テクニカルルーティン、フリールーティンコンビネーションともに第5位となった小林祐加子さん(経済学部)、同じく第13回世界水泳選手権大会のシンクロナイズドスイミングでフリールーティンコンビネーション第5位の川合結万さん(スポーツ健康科学部)、シンクロナイズドスイミングスイスオープン2009ソロ・フリールーティンで優勝に輝いた大西春菜さん(スポーツ健康科学部)の5人であった。

(法人事務室)

体が対象となり、今回は以下の17団体が表彰された。

- 今回大賞となったグリーククラブは、第62回全日本合唱コンクール関西支部大会大学部門金賞受賞ならびに同全国大会大学部門銀賞受賞のほか、アメリカで最も伝統ある男声アカペラコーラスイエール大学ウィップエンブーフスとのジョイントコンサートを行ったことなどが評価された。
- 学生支援センター所長大賞  
グリーククラブ
- 学生支援センター所長優秀賞  
E.S.S.デイベートセクション、  
E.S.S.スピーチセクション、  
E.S.S.ディスカッションセクション、  
neuf

## 文化系公認団体祝賀会 および表彰式

3月17日(水)、寒梅館ホールで、2009年度文化系公認団体祝賀会および表彰式が開催された。この祝賀会は、文化系公認団体で活躍してきた4年次生の卒部を祝うもので、同時に年間を通じて目覚ましい活躍を見せた文化系クラブ・サークルへの表彰式も兼ねている。全国規模の大会等でトップレベルの活躍をみせた団体、社会貢献性の高い活動を行った団体、学生らしい創意工夫が見られた団



### 学生支援センター所長優良賞

文学研究会、同法会、  
コールフリユージェル、  
国際居住研究会

### 学生支援センター所長

地域貢献賞  
ワーキングコーラス

### 学生支援センター所長

奨励賞  
学生混声合唱団C.C.D.  
書道部、広告研究会、  
法学研究会、  
同志社小劇場、  
人力俤友之会、  
ギタークラブ

(広報課)

## 2009年度 同志社ローム記念館 大賞発表会開催

3月23日(火)、京田辺校地同志社ローム記念館劇場空間で、2009年度同志社ローム記念館大賞発表会を開催した。同志社ローム記念館大賞は、1年間のプロジェクト活動や成果を評価し、最も優れたプロジェクトを顕彰する制度で、今回は大賞、優秀賞をはじめ、次の5つの賞が設けられた。



この他、メンバー相互の投票によって決定した、ベストリーダー賞、ベストデザイナー賞などの個人賞も発表、表彰された。発表会の演出はコアプロジェクト学生コアスタッフの企画によるもので、各賞の発表にも趣向が凝らされ、1年の締めくくりとして盛会のうちに終了した。4月からは7期目となる2010年度プロジェクトがスタートし、それぞれの目標達成を目指して活動を進めている。

(京田辺校地総務課)

## 経済学部・新聞ゼミ 日経STOCKリーグ 審査委員特別賞受賞

3月14日(日)、日本経済新聞社主催の第10回日経STOCKリーグの表彰式が、日経ホール(東京都千代田区)で行われ、経済学部の新聞三希代教授が指導する3年次のゼミ生で構成されたチーム(石川真理子、岡嶋美希、平口加奈子、高嶋奈美)が、審査委員特別賞(三原賞)を受賞した。なお今回の大会には、全国の大学・専門学校から123校、826チームがエントリーし、5チームが表彰式に招かれた。

日経STOCKリーグは、投資コミュニケーションを前提としたバーチャル株式学習コンテンツである。エントリーを行った各チームは、各自の興味に基づき、個性豊かな投資テーマを設定、ポートフォリオ



くりやインターネットを活用したバーチャル株式の体験学習などを通じて、生きた経済に触れることが求められる。そして、自ら考え、学びながら、そこで得た成果をレポートとして提出するのである。

今回受賞したチームは「来る！ー肉食男子に日本は救えない！ー」というレポートで、経済学部新聞ゼミとして、前回大会に続き2年連続の入選を果たした。今回で10回目を迎えるこの大会

では、3,298人の大学・専門学校で学生が栄冠を目指して競い合い、東京以外の大学で受賞した唯一の大学となった。

また、日経STOCKリーグを通じて金融・経済教育に長く取り組んだことの功績が認められ、新関三希代教授にNOMURA Award（特別協賛社賞）も授与された。

（経済学部）

## 同志社大学新用地のキャンパス名称決定！

「京都厚生年金休暇センター（ウエルサンプピア京都）」跡地

キャンパス名称…多々羅キャンパス

本学では、新たに取得した「京都厚生年金休暇センター（ウエルサンプピア京都）」跡地と、将来京都市から譲渡される予定の「京都市産業技術研究所繊維技術セン

ター」用地のキャンパス名称を、在学生、卒業生及び教職員を対象に公募し、122人から155件のご応募をいただきました。多数のご応募ありがとうございました。

大学内の選考会議における審査の結果、前者のキャンパス名称を前述のとおり決定しました。このキャンパスが本学の教育・研究のさらなる発展の一翼を担い、その名称とともに多くの皆さまに末永く愛されていくよう願っています。

なお、「京都市産業技術研究所繊維技術センター」用地のキャンパス名称については、譲渡手続きの段階にあり、適切な時期まで発表を延期させていただきます。

多々羅キャンパスでは、国際交流及び地域との共生をめざした活動を積極的に展開していきます。同志社の教育理念のひとつである「国際主義」を体現していくうえで、大きな役割を果たすキャンパスとして発展することを期待しています。

（企画部企画課）

## 同志社大学の募金事業

本学では、かねてからご父母、教職員はもとより広く社会全般に向けて募金のご協力をお願いしてきました。

昨年度は、今出川キャンパスの教育研究環境の再整備を目的とした「今出川キャンパス新校舎建設資金募金」、教育研究活動を展開する施設設備の整備を目的とした「教育研究施設等整備募金」、経済的困窮に

苦しむ学生を支える特定寄付奨学金制度の資金に充てる「奨学金資金募金」、次代を拓く情報教育プロジェクトを支援する「同志社ルーム記念館プロジェクト・サポート募金」事業を行いました。これに対してご父母、卒業生、法人、教職員など多方面からご協力をいただき、集まった資金を活用して所期の事業を実施します。

これも皆さまの深いご理解の賜物と、厚く御礼申し上げます。2009年度の募金事業の実績について、次のとおりご報告します。

### 2009年度 募金事業実績報告書(2009年4月～2010年3月入金分)

| 募金事業                   | 寄付件数および金額              |                  | 使 途  |
|------------------------|------------------------|------------------|--|
| 今出川キャンパス新校舎建設資金募金      | 卒業生、一般、法人              | 5件 241,000円      | 2009年度に実施した建設工事のための資金として活用   |
|                        | 在学生父母                  | 424件 31,888,800円 |  |
| 教育研究施設等整備資金募金          | 卒業生、一般、法人              | 54件 29,231,500円  | 2009年度に実施した知真館改修工事および今出川各館防災システム更新工事を行うなど、施設整備資金として活用<br>■建設事業の詳細は、学校法人同志社発行「事業報告書2009」（同志社大学2009年度の事業実績）に記載しています。 |
|                        | 計                      | 478件 61,120,300円 |  |
|                        | 奨学金資金募金                | 82件 10,361,088円  |  |
| 奨学金資金募金                | 教職員                    | 27件 2,280,000円   | 2009年度に実施した特定寄付奨学金給付の資金として活用<br>給付件数32件、給付総額9,600千円<br>残額は2010年度と同奨学金資金として繰越                                       |
|                        | 計                      | 109件 12,641,088円 |  |
|                        | 同志社ルーム記念館プロジェクト・サポート募金 | 4件 5,100,000円    |  |
| 同志社ルーム記念館プロジェクト・サポート募金 | 教職員                    | 14件 76,000円      | 2009年度に実施した同志社ルーム記念館プロジェクト（教職員、学生、生徒と産・官・学・地域の連携によるプロジェクト）の支援資金として活用   |
|                        | 計                      | 18件 5,176,000円   |  |

なお、奨学金資金募金では3月末までに、卒業生および教職員の方々から以下のとおりご協力をいただきました。

#### ■2009年度協力者「芳名」

（2010年2月～3月申込分 順不同 敬称略）

- 【卒業生、ご父母、一般】
- 300,000円 株式会社バンネット・システム
- 30,000円 同志社大学体育会アメリカンフットボール部OB会
- 10,000円 水谷晴夫
- 8,360円 同志社大学教職員組合 経済学部支部
- 【匿名1人】5,000円

※教育研究施設等整備資金募金、プロジェクトサポート募金のご芳名につきましては、別途芳名録を作成しご寄付いただいた方々にお送りしています。

本学では個人のみなさまから広くご寄付を募ることを目的にインターネットでの募金を開始いたしました。みなさまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

URL <https://bokin.doshisha.ed.jp>  
インターネットでの募金では以下の払込方法をご選択いただけます。

- 1 クレジットカード
- 2 インターネットバンキング
- 3 口座振替

これらの募金事業については、本年度以降も社会各界に対して継続的に呼びかけを行いますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（財務部資金課）

**同志社創立135周年  
記念フォトコンテスト**

学校法人同志社は、2010年に創立

135周年を迎えるにあたり、135年の歴史と伝統、さらに200年の大計を目指す同志社の姿を広く社会に発信するため、さまざまな記念事業、記念行事を企画しています。この記念行事のひとつとして創立135周年を記念し、次のテーマでフォトコンテストを実施します。

**【応募方法】**

詳細はHP参照(<http://www.doshisha.ed.jp/information/20100301.html>)

**【募集対象】**

同志社各学校の在校生、卒業生、教職員、及び広く一般を対象

**【募集期間】**

4月1日(木)～9月30日(木)17時必着

**【表彰】**

創立135周年記念式典において、次の入選者に賞状と副賞を授与  
最優秀賞 1点  
賞状・副賞(3万円相当商品券)

優秀賞 3点  
賞状・副賞(1万円相当商品券)

佳作 5点  
賞状・副賞(5千円相当商品券)

【選考】同志社創立135周年記念事業委員会において、厳正な審査のうえ決定

【発表】11月上旬に入選者に通知するとともにHP上で公開

**【問い合わせ先】**

学校法人同志社法人部法人事務室  
TEL..075・251・3006

**Neesima Room  
第37回 企画展**

**「目的の大なる人物を」**

―創設期の学生たち―

創設期の同志社で学んだ学生たちにとって学生生活とは、目の前の小さな目標にとらわれずに、自らを磨く修養の時間でした。この度の展示では、当時の学校の環境、学生らが体験した学びや生活、彼らが入れた演説活動など、学生ら一人一人の人格を作り上げていった要素と、そうした学びを経て社会に出た人々の想いを紹介します。学生たちが日々の学習で使ったテキストやノート、言論を通じて切磋琢磨した演説の活動記録など、当時の同志社が持つ雰囲気や学生たちの考えやうかがい知れるゆかりの資料から、彼らが抱いた「志」を感じ取っていただければ幸いです。



【期間】4月1日(木)～7月31日(土)

【時間】10時～17時

(土・日曜日は16時まで)

【会場】Neesima Room

(今出川校地 ハリス理化学館2階)

**公開講演会**

**「目的の大なる人物を」にふれて**

―現代学生との振幅で―

真銅正宏 文学部教授・学生支援センター所長

【日時】6月12日(土)13時30分～15時

【会場】今出川校地蜜静館5階会議室

【問い合わせ先】同志社社史資料センター

TEL..075・251・3042

**本学教員の執筆図書を紹介**

【図書館調べ(価格は税別)】

スラム化する日本経済  
浜矩子 著 講談社 8000円

2010年日本経済  
「一番底」不況へ突入する！  
浜矩子 他 著 東洋経済新報社 1,500円

2009-2009年 大恐慌  
失われる10年  
浜矩子 他 著 フォレスト出版株式会社 1,500円

アメリカ憲法の群像 理論家編  
尾形健 他 執筆 尚学社 4,000円

平安京とその時代  
竹居明男 他 執筆 思文閣出版 9,000円

液相中の粒子分散・凝集と分離操作  
森康雄 他 執筆 日刊工業新聞社 3,200円

東アジアの国際関係  
大屋根崎 浅野亮 他 執筆 有信堂高文社 3,900円

近代家族とジェンダー  
荻野美穂 他 執筆 世界思想社 2,000円

教養のための西洋史入門  
中井義明 他 著 ミネルヴァ書房 2,500円

シグニファイイング・モンキー  
白川恵子 他 執筆 南雲堂フェックス 4,200円

現代の比較福祉国家論  
埋橋孝文 他 執筆 ミネルヴァ書房 8,000円

地方財政の破綻と再生  
伊多波良雄 他 執筆 勁草書房 4,500円

日本と東アジアの旧石器考古学  
松藤和人 著 雄山閣 3,800円

ドル終焉  
浜矩子 著 ビジネス社 1,500円

ことばの対照  
下嶋篤 他 執筆 くろしお出版 4,200円

煙の樹  
藤井光 他 訳 白水社 3,800円

電池ハンドブック  
稲葉穂 盛清正嗣 他 執筆 オーム社 2,200円

京の常識事始  
山田和人 岩坪健 竹居明男 他 執筆 講談社 1,900円

現代教育社会学  
山田礼子 他 執筆 有斐閣 2,200円

識字と読書  
山田史郎 服部伸 他 執筆 昭和堂 4,200円

一九三〇年代のアジア社会論  
洪宗郁 他 執筆 社会評論社 2,800円

新しいソーシャルワークの展開  
木原浩信 他 執筆 ミネルヴァ書房 4,000円

日系カナダ移民の社会史  
末永國紀 著 ミネルヴァ書房 6,500円

現代の金融機関と法 第3巻  
川口泰弘 著 中央経済社 3,200円

グローバル資本主義と日本の選択  
橋本俊昭 他 著 光文館 5,000円

よくわかる社会福祉第8巻  
空閑浩人 野村裕美 他 執筆 ミネルヴァ書房 2,400円

## Wagahai wa Gakusei de aru

Since I was very young I have had an interest in Japan. When I was younger I was more interested in ANIME and MANGA but in the past few years I have developed an affection for Japanese literature. My favorite authors right now are Natsume Soseki, Edogawa Rampo and Hoshi Shinichi. I felt it's natural to try taking Japanese language classes when I entered Columbia University.

I wanted to improve my language skills to the level that I could read my favorite authors in Japanese so I chose to study abroad for a year by the Columbia's program called "KCJS (Kyoto Consortium for Japanese Studies)". When I applied to the program it was based in Kyoto University but I was told it would move to Doshisha University. I had never heard of "Doshisha", but I was assured by the KCJS staff that Doshisha has excellent facilities and easy access to the main library, so I was looking forward to my arrival.

In addition to Japanese language, last semester I studied the history of Kyoto and Japanese economic development. This semester I am studying translation and working on my thesis about the translation of Natsume Soseki's *Botchan* into English. The library staff at Imadegawa campus has been very helpful to me so I have been able to progress a lot in my thesis work.

I guess the only thing I have to say to Doshisha students is, "Thank you for being so accommodating for international students!" Also it would be nice if more Doshisha students signed up to be Language Exchange Partners.

Julio Perez

## 吾輩ハ大学生デアル

私は子どもの頃からずっと日本に興味がありました。少し前まではアニメや漫画に興味を持っていましたが、ここ数年、日本文学が好きになってきました。今好きな作家は夏目漱石、江戸川乱歩、星新一です。だから、コロンビア大学に入学したとき、日本語の授業を受けてみることは私にとってごく自然なことでした。

私は好きな作家の本を日本語で読めるレベルに日本語の能力を高めたいと思って、コロンビア大学が加盟している京都アメリカ大学コンソーシアム(KCJS)のプログラムで1年間日本に留学することを決めました。応募したときKCJSは京都大学にありましたが、同志社大学内に移転したと聞きました。同志社大学のことは知らなかったのですが、KCJSのスタッフから同志社には素晴らしい施設があり、図書館へも簡単にアクセスできると聞いて、来るのを楽しみにしていました。

日本語に加えて、先学期は京都の歴史と日本経済の発展について学びました。今学期は翻訳を学び、夏目漱石の「坊っちゃん」の英訳についての卒論に取り組んでいます。今出川キャンパスの図書館のスタッフのみなさんはとても親切で、おかげで論文作成が順調に進んでいます。

同志社の学生さんたちには「いつも海外からの学生の手助けをしてくれてありがとう!」とりたいです。また、より多くの同志社大生がLanguage Exchange Partner (ランゲージエクスチェンジパートナー)に登録してくれたら良いなと思っています。

フリオ・ペレス 2009.9 ~ 2010.4 京都アメリカ大学コンソーシアムに在学



# 佐々木 彦兵衛さんに聞く

御釜師・六代 釜彦

同志社人  
訪問



インタビュー  
木元 綾乃さん  
【政策学部3年次生】

## 今回の同志社人

### 佐々木 彦兵衛さん

【1974年法学部法律学科卒業】

1951年生まれ。京都市出身。同志社中学校・高等学校から70年の大学入学とともに釜造りの修業に入る。75年、御釜師・六代釜彦 佐々木彦兵衛襲名。全国でも数人しかいないとされる茶道出入り方の釜師として、2008年にはロンドンの大英博物館で講演・展示を行った。同館には自作の茶釜も収蔵されている。

木元●学生時代に茶釜造りの修業を始めたとお聞きしたのですが、学業との両立はどのようにされていたのですか。  
佐々木●正直に言いますと、私自身茶釜をやるという気はなかったのです。実は、大学に入ったときは司法試験を目指していました。ところが、在学中に先代である父親が亡くなり、代々続いた370年の歴史をどうするんだということになったのです。もちろん子どもの頃から工場には入っていましたから、釜造りがどういふものかはわかります。しかし、代々の重責を背負っていくのは、自分には到底無理だと思っていました。技術が伴っていないのに六代目を継ぐのは、先代にも、茶道の家元にも、使う方々にも失礼という気持ちもありました。しかも、釜は難しい、重い、汚い、危ない。陶芸だと教室に行つて何年か習え

ばある程度はできますが、釜は無理です。事実、一生懸命やつてようやくどこへ出しても恥ずかしくない釜ができるまでは大変な苦勞をしました。ですから大学に入ったときは、司法試験を目指す気持ちが七分、釜の修業が三分。それが370年の伝統の重みが背中にかかつてきて、4年間のうちにだんだん比率が変わり、4年次生の頃には逆転していました。卒業する前に茶釜造りの道に進もうと決めたのですが、随分悩みましたね。

木元●六代目を継ごうと決めるのに、何か後押しになつたものはありますか。

佐々木●当時、ある人がいいことを言ってくれました。「失敗してこそ上達していくのだ」と。それを聞いて大変気持ちが楽になつたのです。松下電器創業者の松下幸之助さんにも、こう言われました。「失敗を恐れたり、後ずさりしてはいけません。前進あるのみ。私も悩んだし失敗もしてきましたが、前に進んできたからこそいい結果が残せたのだ」。実際、たくさんの失敗を重ねてきました。その時々でこうした方々の言葉が励みになりました。

木元●在学中に本格的に釜造りの道に入られて、その時点で大学を続けるかどうか迷われることはなかったのでしょうか。

佐々木●大学を辞めるといふ選択肢はなかったですね。私の親は2人とも教職の免許を持っていて、実際、母は教職に就いていました。教育者でしたから、どんなことをしても大学は出なさいと固く言われて



いたのです。釜造りにおいても、中学校卒業あるいは高校を卒業してやるのと大学

を卒業してやるのでは考え方が違ってくる。ここはこうするよりもこうしたほうがいいのではないかと、考え方に広がりが出てくるのです。もちろん技術を覚えるのには、1年でも2年でも早く始めるのに越したことはありません。だから、始めるのが遅かった分それだけ苦労はしましたが、私は大学を卒業しておいてよかったです。と思います。

**木元**●釜造りの技術はどのように身に付

けられたのですか。

**佐々木**●技術は教えてもらえるものではありません。造っているところを見て、自分でやってみて、失敗してもいいからやり遂げる。それが基本です。重くなったり傾いたり。傾くということとは鉄の厚みが違うということですが、「釜彦」の釜の厚みは2.5ミリくらいで大変薄い。なぜかというと、使いやすいようにしたいからです。使いやすい釜を目指して薄くしています。造っている途中で破れたりもする。そういう技術を見て覚える。手取り足取

り教えてくれるわけではないのです。ただし釜造りは一子相伝。親が子どもに、子どもが孫に、技術を伝えていくのです。血のつながったものにしか伝えない。私の場合は、やろうと決めたときにはすでに見て覚えるべき先代が亡くなっていましたから、余計に大変でした。でもやらなければいけなかった。

**木元**●釜を造るにあたってこだわりなどはお持ちなのでしょうか。

**佐々木**●釜というものはこだわりがあらうと、ただ単に釜を造るのではなく、千利休の利休好みの釜を造る、そこを外れると茶道具としては使えません。私自身のことわりは釜肌です。釜を造るには絵心、肌を打つセンス、地紋を描くヘラ押さえの技術などが必要です。それらがすべて揃ってミックスされないといい釜にはなりません。

**木元**●代々伝えられてきた「釜彦」の釜は、それぞれの代によってこだわりや個性が違うものなのですか。

**佐々木**●私は先代、先々代の釜を造れと言われても造れません。同じものは造れないのです。ただ木型がありますから、口径、胴径、高さが同じものは造れます。難しいのは釜の造り、肌打ちなのです。それは技術を受け継いでも、絶対にまねできない。だから代々の釜に似せて造っても、それは偽物です。常に先代のものにプラスチックをつけていかないといけないのです。それが自分の個性です。そして絶えず進歩し

ていかないといけない。先代のものにとどまっていはいけません。

**木元**●六代目を襲名されたのが、大学を卒業された翌年。釜造りに自信を持たれるようになったのはいつ頃からですか。

**佐々木**●8年ほど経ってからです。それまで本当に自分で納得するものは造れませんでした。ただその間に、裏千家の御家元、大宗匠が私の釜を使ってくれたのです。御家元で使われるということは、ある程度認めてもらったということ。それでちょっと自信いたものができました。茶道に生きる職人というのは御家元に使ってもらってこそ、そのときに思いましたね。

**木元**●私は茶道を始めてまだ2年なので、すが、茶道をするにあたって釜を使用する際、どのような気持ちで使ってほしいと思われませんか。

**佐々木**●「釜彦」の釜は代々、国内でつくられてきました。それを防ぐには、手で直に触らないことです。釜が一番大事な道具ですから、やさしく扱わないといけない。それにしまい込まないでしょっちゅう使うことです。後は手入れです。一昼夜乾燥させて、二昼夜空干しする。釜は使ってこそ釜なのです。

**木元**●大英博物館で講演をされたこともあるそうですね。

**佐々木**●なぜ行ったかという、館長さんが「茶釜」というのは日本伝統文化のひとつ

として鉄でつくる芸術品である」と言ってくれたからです。自分自身も釜に対するこだわりがありますから、世界に問いたいわけです。これはいい機会だと思わせてね。

**木元** ● 道具でもあり、美術品でもあるということなのですね。

**佐々木** ● そうです。大英博物館の館長さんが釜を使いたいと言われるので、「どういうときに使われますか」と聞くと、エリザベス女王やブラウン首相など特別な賓客をもてなすときにお湯を沸かしたい。ほとんどは紅茶を淹れるのにお使いになるのですが、それでもやっぱり釜で沸かすとおいしいですからね。

**木元** ● 釜によってお湯の質が変わったりするものなのでしょうか。

**佐々木** ● 私はさほど変わらないと思うのですが、ただ井戸水を釜で沸かしたものはおいしいですね。名水と言われる水で沸かすのももちろんおいしいと思いますが、水道水を汲んで一昼夜置いておいて沸かしてもおいしいですよ。

**木元** ● 大学4年次から本格的な釜の修業を始められたということですが、学生時代に思い出はありますか。

**佐々木** ● 旅行に行つたくらいですね。後は釜を造るのと司法試験の勉強に四苦八苦していました。旅行は好きでしたから、毎年徳島の阿波踊りに行っていましたし、全国の県庁所在地はすべて訪れました。

**木元** ● 私はこれからも茶道を続けたいと思っているのですが、私も含め茶道に携わ

る人に何かアドバイスをいただければ。

**佐々木** ● そんな失礼なこと(笑)。ただ、いつも思うのですが、お茶というのはそんなに堅苦しいものではないのです。裏千家の家元もおっしゃっていますが、楽しくやるものだと。お点前のときは正座してもらわないといけません。お客様は正座しないといけません。胡座でもいいじゃないですか。それと、釜だけはある程度良いものを持つておいてほしいですね。欠けることもなければ、割れることもない、一生のものでしたら。

**木元** ● 私たちに、人生の先輩として助言をお願いします。

**佐々木** ● 私は同志社大学を卒業したこと誇りに持っていますし、これまでの自分の人生にまったく悔いはありません。私は先生でもなければ、芸術家でもありません。

ん。ひとりの職人です。木型を挽き、絵を描き、ふたもつまみも、すべて自分で造っている職人なのです。今の人たちはひとつのことを続けることがなかなかできない。

飽きてしまいがちです。大事なのは、自分の思った道を突き進むことです。どこかで挫折するかもしれませんが、そこからまたはい上がればいい。1回や2回挫折してもどうということはありません。人生は長いのですから。いろんな人に出会うことも大切ですね。そして、いろんな考え方があることを知ることです。私みたいに職人の狭い世界で生きているものがそう言うのですから間違いない(笑)。

**木元** ● 茶道の大事な道具なのに、茶釜についてほとんど知りませんでしたから、大変勉強になりました。本日はどうもありがとうございました。



## INTERVIEWER

### 失敗を恐れず、1つの道をまっすぐに進みたい

茶道を始めたのは、せっかく京都の大学に入ったのだから「和」の心を身に付けたいと思ったからです。茶釜のことを知り、茶道に取り組む姿勢が少し変わったような気がします。佐々木さんから茶道は楽しんでやるべきと言われたので、これからは楽しむ気持ちを忘れないようにしたいと思います。佐々木さんの言葉で印象に残ったのは、1つの道を突き進みなさいということ。今後は、自分の定めた目標に向かって、失敗を恐れずにまっすぐに進んでいきたいと思いました。

### 木元 綾乃さん

政策学部3年次生

大阪府出身。入学とともにに入った茶道部では幹事を務める。政策学部を選んだのは、幅広い分野のことを学びたいと思ったことが理由。現在、経済の仕組みや環境とエネルギーなど多くのことを学んでいるが、卒業後は、大学生活で得た知識を生かして、社会に貢献できる仕事に就きたいという。



# 大事なものは自分が何をしたいか。 強く願うと道は拓ける。

マーチャンダイザーという仕事は、まず商品を企画し、どんなお客様に提案していくかを考え、その商品をいつ店頭で並べ、どのような売り方をして、どれだけの利益をあげるか、そこまで責任を担います。私が対象としているのは「ウンナナクール」というブランドのすべて。プラジャーだけでも品番数で1シーズン(半年)で1000にのぼり、それ以外にパジャマ、部屋着、雑貨類もあり、それらすべてが私の担当です。

ワコールに入社したのは、大学時代にあるアパレルメーカーでアルバイトをしたことがきっかけでした。その直営店でレディースの販売を担当していたのですが、ちょうど私が入社した年に、ワコールも直営店事業を展開することになり、私の経験と会社のニーズが重なったことが入社につながったと思います。そして最初に配属されたのが、その準備室にあたる直営店統括室でした。そこではまず、どのエリアに競合店がどれだけあり、商圏の顧客数がどれくらいで、出店する価値があるかどうか、全国を回って調査をしました。そして1年後、実際に出店することにな

り、今度は一から店づくりを始めました。店の仕様の配置から商品の手配、オープン前には商品をレイアウトして、販売員に教育をすることまで幅広く経験を積みました。ウンナナクールに配属されて2年になりますが、それまでの6年間は、当社の一般的な新入社員がたどる道、たとえば販売部門への配属なら百貨店や専門店を回る、モノづくりなら材料や生産管理を担当するなどといった道とは、まったく違うところを歩いて来たことになりました。

私は直営店事業のフロントティアになりたいと強く願い、まず誰もしていなかった直営店の販売を経験し、その後には直営店のモノづくりをしつかり覚えたいと思い、その結果ウンナナクールに来ました。そういう意味では思った通りに進んでいると聞いていいかもしれませんが、直営店には自分と同じくらいの年齢の店長がいて、若い販売員がいる。店を作ってモノを作って、一緒に苦労しながら売る。それは楽なことではないのですが、それだけに楽しいやりのがあるのです。自分がブランドを生み出し、育て、それを買ってくれるお客様

の反応をダイレクトに感じる事ができる、その実感は間違いなく大きいです。

今後の希望は海外で勤務することで、これからワコールは、ますます海外に進出していくことになると思います。そうなれば、まったく新しい国で一から立ち上げる事になります。自分でモノをつくり、店をつくる、文字通りフロントティアになれるチャンスがそこにあります。何もなるところで泥にまみれてやってみたい。実際に希望が叶うかどうかはわかりませんが、自分の道を信じ、そうなれるよう願っています。

## 三浦 忠広さん 【2002年神学部卒業】

株式会社ウンナナクール 商品部 マーチャンダイザー

そもそも音楽を仕事にしたいという思いがあり、岡山の高校を卒業した際も、大学に進むつもりはなく、地元でジャズのベースを弾いていた。しかし、1年で、音楽では食べていけないと感じたことから、「同志社大学の軽音楽部にはジャズをやっている人がいる、OBにもジャズのプレイヤーが多いと聞いたことがきっかけで」1年間勉強して同志社大学に。現在は朝7時に出社し、夜8時、9時まで働く。「1時間ごとに区切って何とかこなしていますが、学生のときは1週間、1カ月という単位で考えていました。今ここで発揮している集中力を学生のときに何か対象を見つけて注いでいたら、すごいことになっていただろうと思いますね」と笑う。

# 人に影響を与える仕事だからこそ、多くの経験の引き出しが必要。

企業で研究職に就きたいと思っていた私が教職に方向を変えたのは、大学院に進み学部生をサポートするTA(ティーチング・アシスタント)を経験したことがきっかけでした。人に教えることの楽しさを、そのときに知ったのです。常勤講師、非常勤講師を経て専任教諭となり今年で3年目です。

講師の1年目は高校の生物を担当しました。まったく専門外でしたから、教科書を開いても未経験のことばかり。ただ、知らないことを自分で勉強していくという意味ではいい経験になりました。悩んだのは、わかっていない生徒たちにどう伝えるか、どうやって理解させるかということ。でも逆に言うと、私自身知らないことが多かったために、生徒がどこで躓くかもわかるのです。そこをポイントに理解させるようにもっていかばいい。教えるということがどういふことなのか、最初の1年で学ぶことができたと思います。

2年目から中学校の担当となり、それからはずっと中学生を教えています。中学生は3年間で身体的にも精神的にも大きく成長します。1年、2年、3年と上がっていくに従って、考え方が急速に大人びていき

ます。1日1日でも違うし、日々いろんな発見があつて楽しいです。そんな中で思うのは、生徒と寄り添いつつ、一線を引かなければいけないところではしっかり線を引く、そのバランスの難しさです。ここから先は許されないという線を決めて、自分の立ち位置をしっかり定めていくことが大切。自分の立つべき位置がどこなのか、私自身、まだ模索中です。

また、教師という仕事に就いて、自分にどれだけ引き出しがあるか、どれだけいろんな経験をしているかということが大事だと思うようになりました。幅広い経験をしているとそれだけの確かなアドバイスもできます。研究や勉強で忙しかった大学時代を振り返ると、もっといろんなことに挑戦して広い世界を知っておけばよかったと思います。それに、教師というのは人の人生のある一時期に深く関わる仕事です。自分の姿勢や言葉がどういふふうに通じるか、もしかしらたらすごく影響を与えているかもしれない。そういう意味での責任の大きさを痛感しています。

ですから、教職を志す人にアドバイスをするなら、学生時代にいろいろな経験をし

てほしいということです。サークルでもいいし、地域の活動でもいい。たくさん経験をしておくだけで多くの引き出しを作っておきたい。そしてもうひとつ、これは教職に限りませんが、疑問に思ったことは自分で調べて答えを見つけることです。あらかじめ最後まで自分一人でやり切る姿勢は、社会人にとってすごく大事ですが、社会に出てすぐやれと言われても無理でしょう。大学時代にこそ身に付けておかなければいけないことだと思います。

## 大野 真理子さん

【2006年工学研究科機械工学専攻  
博士課程(前期課程)修了】

近江兄弟社中学校 理科教諭

近江兄弟社学園は母校。自身の中学時代に比べて「今の生徒は落ち着いたいておとなしい子が多い。注意するとすぐ静かになるし、聞き分けがいい」と言う。「恋愛相談をする生徒が多いのに驚きました(笑)。教師と生徒がすごく気軽に話していることも、私たちの時代とは違いますね」。生徒たちを前にすると今も緊張するが「みんなの笑顔を見るとパワーをもらえるので、やはり子どもたちと触れ合っているとかがいちばん楽しい」。昨年度、中学3年生のクラスを受け持ち、初めて担任教師として生徒を送り出した。「1年間反発していた子が、最後に「先生のクラスで楽しかった」と言ってくれたときには、本当にやってきてよかったと思いました」。卒業式では生徒以上に泣いたという。

- 6月15日(火) 詳細未定
- 6月22日(火) 詳細未定
- 6月29日(火) 詳細未定

【問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270  
※内容は変更となる場合があります。秋学期は10月から再開予定。

## ♪観に行こう聴きに行こう♪ 学生団体6月～9月の活動予定

### 【京田辺校地ハローホール】(ホール広場前含む)

- 6月2日(水) neuf「Doshisha culture festival」 (時間未定)
- 6月5日(土) 軽音楽研究会IPC「新入生歓迎ライブ」 (時間未定)
- 6月10日(木) 軽音楽部「新歓コンサート」 15:00～
- 6月12日(土) F.A.C「企画ライブ」 11:00～
- 6月14日(月) soul2soul「春多目ステージ」 12:15～
- 6月15日(火) soul2soul「春多目ステージ」 12:15～
- 6月16日(水)、17日(木) 陶芸サークル土夢「作品展」 9:00～
- 6月19日(土) One Voices「新入生ライブ」 (時間未定)
- 6月26日(土) S.M.M.A「音フェス」 12:30～
- 6月29日(火)、30日(水) F.B.I.「上映会」 12:30～18:30
- 7月3日(土) とんがりぼうし「2回コンサート」 10:30～
- 7月6日(火)、7日(水) enchainement「春多目」 12:30～
- 7月17日(土) F.A.C「新入生デビューライブ」 11:00～

### 【今出川校地】

- 6月12日(土) 同志社ミステリ研究会「東川篤哉講演会」 13:30～

### 【今出川校地寒梅館ハーディーホール】

- 6月16日(水) 学生混声合唱団C.C.D.「合唱・オーケストラリハーサル」
- 7月4日(日) コールフューゲル「第44回サマーコンサート」 16:00～ 500円
- 7月18日(日) E.S.S. 新島杯争奪全日本学生英語弁論大会 12:30～

### 【今出川校地寒梅館クローバーホール】

- 7月1日(木) F.B.I.「上映会」 12:30～18:30

### 【学外】

- 6月19日(土) 学生混声合唱団C.C.D.  
「第50回記念早稲田×同志社ジョイントコンサート」  
17:00～(16:30)、文化パルク城陽プラムホール、800円
- 6月19日(土) 能楽部観世会「同志社観世能」  
正午(予定)、嘉祥閣、無料
- 6月27日(日) 混声合唱団こまくさ「同志社混声合唱団こまくさ×  
京都大学音楽研究会ハイマート合唱団ジョイントコンサート」  
14:30～(13:30)、文化パルク城陽プラムホール(近鉄寺田駅徒歩約10分)、1,000円
- 6月27日(日) グリークラブ「第59回東西四大学合唱演奏会」  
京都コンサートホール大ホール、  
チケットS:2,500円(指定)A:2,000円(指定)B:1,000円(当日座席券交換)
- 8月12日(木) グリークラブ「静岡演奏会」  
静岡音楽館AOI、2,000円(全席自由)
- 8月14日(土) グリークラブ「ジョイントコンサート(仮)」  
横浜、詳細未定
- 9月7日(水)～11日(土) 機械研究会「第8回全日本学生フォーミュラ大会」  
静岡県小笠山総合運動公園エコーパ、無料

### 【硬式野球部】

6月 全日本大学野球選手権大会(4、5月のリーグ戦で優勝した場合)  
8、9月 関西学生野球秋季リーグ戦(日程未定)

### 【バスケットボール部】

●5月30日(日)～6月4日(金) 西日本学生選手権大会

対戦校・会場:未定 入場無料

●6月19日(土)20日(日) 立教大学定期戦

対戦校:立教大学 会場:立教大学 入場無料

●9月4日(土)～毎週土日に試合 1部リーグ戦

会場:9月11、12日は本学 対戦校:未定 入場無料

### 【ラグビー部】

●6月6日(日) 定期戦・招待試合

対戦校:早稲田大学 会場:伊那陸上競技場 入場料1,500円

●6月20日(日) 定期戦

対戦校:立教大学 会場:京田辺キャンパスラグビー場 入場無料

●6月27日(日) 定期戦 対戦校:明治大学 会場・入場料:未定

●7月4日(日) 定期戦 対戦校:関西学院大学 会場:未定 入場無料

### 【サッカー部】

●6月13日(日)14時～ 関西学生サッカーリーグ第10節

対戦校:大阪産業大学 会場:堺市立サッカーナショナルトレーニングセンター 入場無料

●6月20日(日)14時～ 関西学生サッカーリーグ第11節

対戦校:大阪学院大学 会場:堺市立サッカーナショナルトレーニングセンター 入場無料

### 【ボクシング部】

●6月6日(日)、13日(日) どちらも11時開始予定 近畿学生ボクシングリーグ戦

対戦校:6月6日(日)・龍谷大学 6月13日(日)・関西大学

会場:関西大学ボクシング場 入場無料



## 京町家を拠点にした異世代協同プロジェクト

「子ども」「大人」「学生」「高齢者」が入り交じる町家「でまち家」で一緒に活動しませんか。世代混合のサークル活動や、議論の場が展開されています。

●井戸端会議に参加してみませんか!

【開催日】6月24日(木) 19:00～21:00

携帯電話・地球温暖化・公共マナー・赤ちゃんポストなど、さまざまな社会問題について異世代の意見を聞きます。

●季節行事で京都の四季を感じよう!

6月「町家の建具替え」7月「浴衣着付け体験」8月「地藏盆・寒梅館夏祭り」

※参加費無料。定員あり。申し込み・問い合わせは下記まで。

### 【学生スタッフ募集】

子どもと一緒に遊んだり、地域のひとと季節行事を楽しんだり、京町家ならではの生活を体験したり、町家プログラムに関わる全てについて企画・広報・運営に携わる学生スタッフを募集しています。

【申し込み・問い合わせ先】今出川校地学生支援課

でまち家:京都市上京区寺町通今出川下川西側(今出川校地から東へ徒歩7分)

開室時間:火曜日～金曜日 11:00～19:00

TEL:075-211-5176

[http://www.doshisha.ac.jp/students/support2/machiya\\_project/](http://www.doshisha.ac.jp/students/support2/machiya_project/)

## 応援に行こう!～体育会試合日程

開催日時、会場、対戦校、料金などは変更になる場合があります。

### 【アメリカンフットボール部】

●6月6日(日)13:00～ 第62回定期戦

対戦校:慶應義塾大学

会場:京田辺校地アメリカンフットボール場 入場無料

●7月11日(日)14:00～ NEW ERA BOWL 2010

対戦校:関西選抜vs関西選抜 会場:京セラドーム大阪 入場料未定

●9月4日(土) 関西学生アメリカンフットボールリーグDiv.1

対戦校:甲南大学 会場:王子スタジアム 入場料未定

●9月19日(日) 関西学生アメリカンフットボールリーグDiv.1

対戦校:京都大学 会場:EXPO FLASH FIELD 入場料未定

## 「寒梅館夏まつり～お兄さんお姉さんと遊ぼう～」 学生ボランティアスタッフ募集

寒梅館ホールや会議室、アトリウムを使って、夏まつりを開催します。2006年にスタートした寒梅館夏まつりは、地域のイベントとして定着し、今年も子どもたちが楽しみにしています。クラブ・サークルの皆さんが日頃培っているスキルを生かして、地域の小学生向けのイベントを企画してみませんか?茶道体験、アナウンサー体験、模型展示など、この夏、ボランティアスタッフとして子どもたちと一緒に遊んでくれる団体を大募集します。

【開催日時】8月28日(土)13:00～16:00

【スタッフ募集対象】同志社大学学部生 (個人での参加も大歓迎)

【問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

# A N N O U N C

## Doshisha Spirit Week 2010 SPRING

同志社大学には、建学以来脈々と受け継がれてきたキリスト教主義教育、新島襄の建学の教育理念、そしてその実践といった建学の精神と伝統があります。Doshisha Spirit Weekは、キリスト教主義教育や創立者新島襄について触れ、同志社人としてのアイデンティティを高めることを目的として、2003年から始まりました。期間中は、講演や展示などさまざまな企画を行います。

【期間】5月31日(月)～6月5日(土)

### <京田辺校地>

●展示 「新島八重の生涯—進取と矜持」  
(ラーネット記念図書館主催/同志社社史資料センター協力)

7月31日(土)まで 図書館開館時間中  
ラーネット記念図書館2階展示コーナー

●演舞 —カレッジソング指導—  
5月31日(月)12:30～ 応援団 多目的ホール前広場  
(天候によっては知真館1号館ピロティ)

●京田辺水曜チャペル・アワー  
6月2日(水)10:45～ 「良心を育む」  
心理学部長 内山伊知郎  
知真館1号館111番教室

●講演  
6月2日(水)13:15～ 「同志社大学はあなたに何を期待しているか」  
同志社大学名誉教授 井上勝也  
知真館2号館101.201番教室  
6月3日(木)15:00～ 「『脱国の理由書を読む』  
—なぜハーディーは心を動かされたのか?」  
神学部准教授 村山盛葦  
知真館2号館102番教室

6月4日(金)13:15～ 「アメリカンボード・神戸女学院・同志社」  
神戸女学院大学学長 飯謙  
知真館2号館201番教室

●京田辺金曜ランチタイム・チャペル・アワー  
6月4日(金)12:40～13:05 「未定」  
日本キリスト教団京都葵教会牧師 西岡裕芳  
キリスト教文化センター講座室(夢告館西隣建物)

### <今出川校地>

●展示 「目的の大なる人物を—創設期の学生たち」(同志社社史資料センター主催)

●同志社幼稚園園児聖歌隊 ミニコンサート  
5月31日(月)12:15～ 同志社幼稚園園児聖歌隊 明德館前

●今出川火曜チャペル・アワー  
6月1日(火)17:30～ 「自治に生きる」  
社会学部教授 吉田亮  
クラーク・チャペル(クラーク記念館2階)

●講演  
6月1日(火)10:45～ 「新島襄の足跡を辿る～欧米編と京都・安中walk」  
元同志社中学校教諭 田島繁  
至誠館地下3番教室

6月2日(水)15:00～ 「新島襄入門」  
神学部教授 本井康博  
至誠館22番教室  
6月4日(金)9:00～ 「新島伝にひそむ七つのウィールズ」  
同志社大学名誉教授 北垣宗治  
至誠館地下3番教室

●今出川水曜チャペル・アワー  
6月2日(水)10:45～ 「同志社大学生に期待するもの」  
学長 八田英二  
クラーク・チャペル(クラーク記念館2階)

●キャンパスめぐり隊  
6月3日(木)13:15～ 案内人:神学部教授 本井康博  
良心碑前集合

【問い合わせ先】キリスト教文化センター  
京田辺校地 TEL:0774-65-7370  
今出川校地 TEL:075-251-3320

## 2010年度「同志社キャンパス フェスタ」開催

昨年に引き続き、下記の日程で「同志社キャンパス フェスタ」を開催し、校友の皆さま、在校生のご父母、受験生などとの交流を行います。内容は、八田学長による大学紹介、講演会、キャリア支援や入試に関する説明など盛りだくさんです。皆さまの参加をお待ちしています。

| 開催地 | 開催日        | 会場                                   |
|-----|------------|--------------------------------------|
| 東京  | 10月3日(日)   | 六本木アカデミーヒルズ49<br>地下鉄日比谷線「六本木」駅 徒歩3分  |
| 金沢  | 10月9日(土)   | 金沢エクセルホテル東急<br>路線バス「香林坊」駅 徒歩1分       |
| 松山  | 10月23日(土)  | 国際ホテル松山<br>市電「大街道」駅 徒歩5分             |
| 福岡  | 11月3日(水・祝) | アクロス福岡<br>地下鉄「天神」駅 徒歩3分              |
| 松江  | 11月14日(日)  | 松江テルサ JR「松江」駅 徒歩1分                   |
| 盛岡  | 11月20日(土)  | ホテルニューカリーナ JR「盛岡」駅 徒歩8分              |
| 福島  | 11月21日(日)  | 福島ビューホテル JR「福島」駅 徒歩1分                |
| 京都  | 11月7日(日)   | *ホームカミングデー2010として開催<br>同志社大学今出川キャンパス |

詳細はHP([http://www.doshisha.ac.jp/alumni/info/c\\_festa.html](http://www.doshisha.ac.jp/alumni/info/c_festa.html))にて掲載。  
【問い合わせ先】企画部広報室 校友・父母課 TEL:075-251-3009



## FLAT bふらっとプログラム

【京田辺校地ハローホール】入場無料

- 6月8日(火) 映画上映「マンマ・ミーア!」  
12:30～/15:00～/17:15～
  - 6月24日(木) アコーディオンコンサート「かとうかなこ」 17:00～
  - 7月9日(金) ウクレレコンサート「IWAQ」 12:30～
  - 9月29日(水) ハーモニカコンサート「あらいなおこ」17:00～
- 【問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7413



## WOT(ワット) = "What's on Thursdays!"

【寒梅館ハーディーホール】本学学生・教職員はすべて無料

- 6月3日(木) 映画「南極料理人」  
10:30～/13:30～/16:00～/18:30～  
監督:沖田修一 出演:堺雅人、生瀬勝久、きたろう
  - 6月10日(木) 映画&トーク「わが人生わが映画/小林政広監督来館&作品上映」  
映画上映:小林監督作品「CLOSING TIME」「歩く、人」  
『パッシング』  
トークゲスト:小林政広(映画監督)
  - 6月17日(木) 映画&トーク「撮影監督 宮川一夫の色彩」11:00～  
映画上映:市川崑監督作品「おとうと」、  
小津安二郎監督作品「浮草」  
トークゲスト:太田米男(大阪芸術大学教授)
  - 6月24日(木) 新作映画試写会「必死剣鳥刺し」18:30～
  - 7月1日(木) 映画上映(詳細未定)
- 【問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270  
※内容は変更となる場合があります。秋学期は10月から再開予定。



## CLOVER THEATER クローバーシアター

【寒梅館クローバーホール(地階)】入場無料

- 6月1日(火) 《特集:おいしい食卓2》17:00  
「或る日の干潟」「海に生きる」「水俣:患者さんとその世界」
- 6月8日(火) 映画&トーク「わが人生わが映画/小林政広監督来館&作品上映」  
17:30～  
映画上映:小林監督作品「海賊版=BOOTLEG FILM」  
「Where are you?—「ワカラナイ」の世界」(メイキング)  
トークゲスト:小林政広(映画監督)

# 7人制ラグビーの世界大会に日本代表として出場

## 〜目標は2016年リオデジヤネイロ五輪〜

今年2月、アメリカ・ラスベガスで行われた7人制ラグビーの世界大会「IRBセブンズワールドシリーズ USA大会」に、日本代表チームの一員として参加しました。イングランド、ウェールズなど世界の強豪チームと戦い、日本は2勝4敗。やはり世界のトップクラスのチームとはレベルが違います。僕自身も大学生として初めて「フル代表」に選ばれ、チームの中でまだまだ実力不足だと実感しました。

7人制ラグビーは、15人制と同じ大きさのグラウンドを使いながら人数が半分になるので、より高いランニングスキルが要求されます。走る量が多いため体力の消耗も激しい。ですが、15人制では勝てないチームにも7人制だと勝てる場合があります。細かいプレーでは日本も世界に通用しますから、7人制のほうが世界のトップに勝つ可能性は高いと思います。

僕がラグビーを始めたのは中学1年のときでした。それまではサッカーのゴールキーパーをしていて、中学でも誘われたのですが、ラグビー部は自由で楽しそうに見えましたし、体験入部を試みたらすごく面白かったです。実際に始めると、自分たちで試合を組み立てる楽しさがあり、すっかりラグビーに染まってしまいました。高校は東福岡

高校へ進み、2年のときは花園で準優勝、3年では全国優勝しました。大学進学時には関東の大学からも誘いがあったのですが、自分を求めている環境がなかったので、自由な環境を求めて選びました。ラグビーでは選手同士のコミュニケーションが円滑に取れないというチームになりません。その意味で1年次から試合に出させてもらい、試合中のプレーに対して自分の意見が言える同志社の自由さはすごくいいと感じています。

2016年にリオデジヤネイロで行われるオリンピックに7人制ラグビーが採用されますので、今の目標はそれに日本代表として出場すること。年齢から考えてもベストの時期だと思えますし、そのときに実力が発揮できるように経験を積み重ねていきたい。そのためにもまずは目の前のことに集中して、同志社のラグビー部員として、秋に始まる関西のリーグ戦、冬の大学選手権に向けて、しっかり準備をしていきたいと思っています。

卒業後はラグビーのできる環境がある企業に入って、チャンスがあれば海外に挑戦したいという気持ちもあります。そして、ゆくゆくは指導者になってラグビーを教えたい。ラグビーは日本ではまだマイナーなスポーツなので、自由に、自分たちが考えてプレーできる楽しさを伝えていければと思っています。

正海 智大さん  
【法学部政治学科3年次生】

